

2020年8月6日

ディップ株式会社

【アルバイト・パートの就業実態・就業希望 7,000人調査】

新型コロナウイルスが“仕事探し”にも影響 4割強が心境の変化あり

テレワーク・在宅ワークの活用は3.8%から11.7%に増加、正社員とは15.6pt差

ディップ株式会社（以下「当社」）のディップ総合研究所は、アルバイト・パートまたは派遣社員※1として就業している15～69歳の男女を対象に「就業実態・就業希望調査」を実施しましたので報告いたします。

※1 本リリースでは、調査対象者のうち、アルバイト・パート（SC調査28,701サンプル／本調査7,047サンプル）の結果を使用

■調査結果サマリ

1. 新型コロナウイルスが“仕事探し”にも影響 4割強が心境の変化あり
2. アルバイト就業者の3割強が正社員を希望、10・20代、30代の男性は約6割
3. 新型コロナウイルスの影響で3割以上が正規雇用化への希望が強くなった 理由は“給与アップ”と“雇用の安定”など
4. 待遇・制度・条件の希望1位「交通費支給」は54.9%、「テレワーク・在宅ワークができる」は14.9%
5. テレワーク・在宅ワークの活用は3.8%から11.7%に増加、Webクリエイター・編集、ITエンジニア、営業は20%以上

dip 働く人のリアルがわかる
ディップ総合研究所

「アルバイト・パート7000人」の就業意向調査

仕事探しに対する心境の変化

新型コロナウイルスによる
影響あり **4割超**

最も変化したのは…

“正社員ではたらくこと”への希望



「アルバイト・パートの就業実態・就業希望調査」:

<https://www.baitoru.com/dipsouken/all/detail/id=422/> / <https://www.baitoru.com/dipsouken/all/detail/id=423/>

■調査結果からわかるアルバイトの就業実態・就業希望

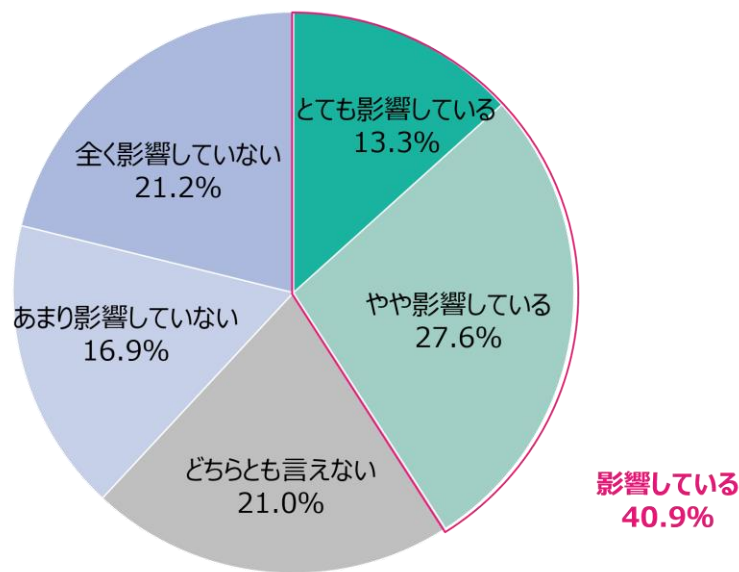
新型コロナウイルスの感染拡大はアルバイト就業者の仕事探しにも影響しており、4割強が「心境の変化がある」と回答しました。アルバイト就業者の3割強が「正社員」を希望しており、特に10・20代、30代の男性は約6割と高くなっています。また、その希望は新型コロナウイルスの影響により3割強が「希望は強くなった」と回答しています。待遇・制度・条件の希望は交通費支給が1位となりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため少しずつ浸透し始めた「テレワーク・在宅ワーク」についても約15%が回答しています。しかし、アルバイト・パートにおけるテレワーク・在宅ワークの活用は1割強に留まっており、これからの導入・活用が待たれます。

■ 調査結果概要

1. 新型コロナウイルスが“仕事探し”にも影響 4 割強が心境の変化あり

仕事探しに対する心境の変化

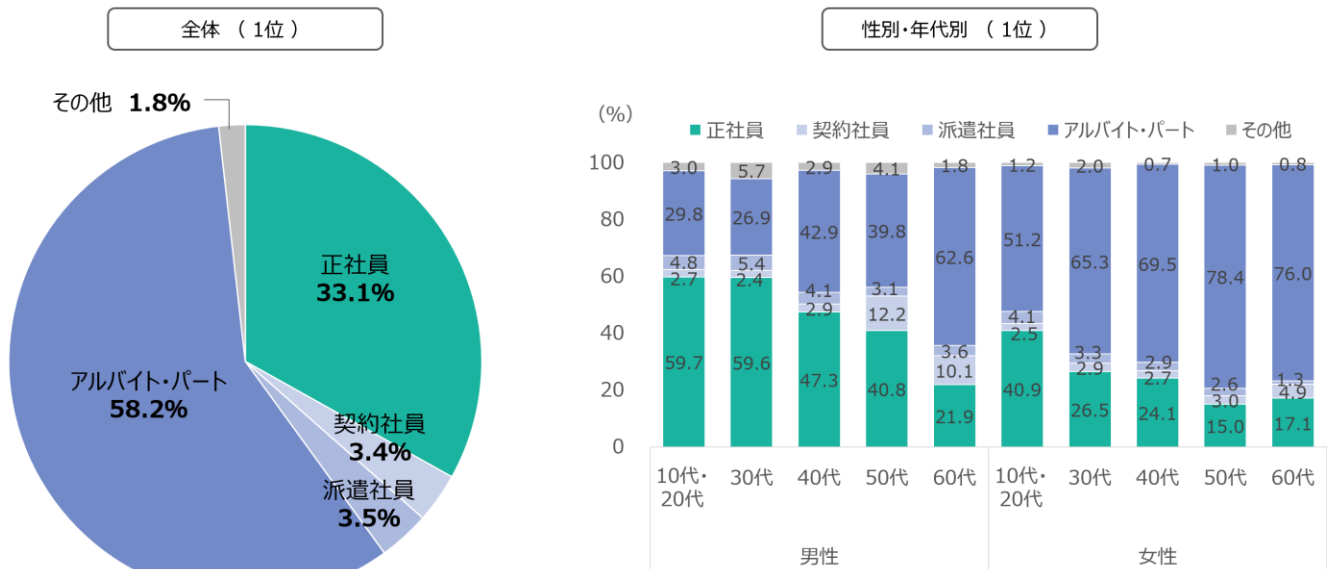
Q. 仕事探しにおいて、新型コロナウイルスの影響により「心境の変化」に影響はありましたか。あてはまるものをひとつ選択してください。 n=7,047



2. アルバイト就業者の3割強が正社員を希望、10・20代、30代の男性は約6割

正社員で働くことへの希望

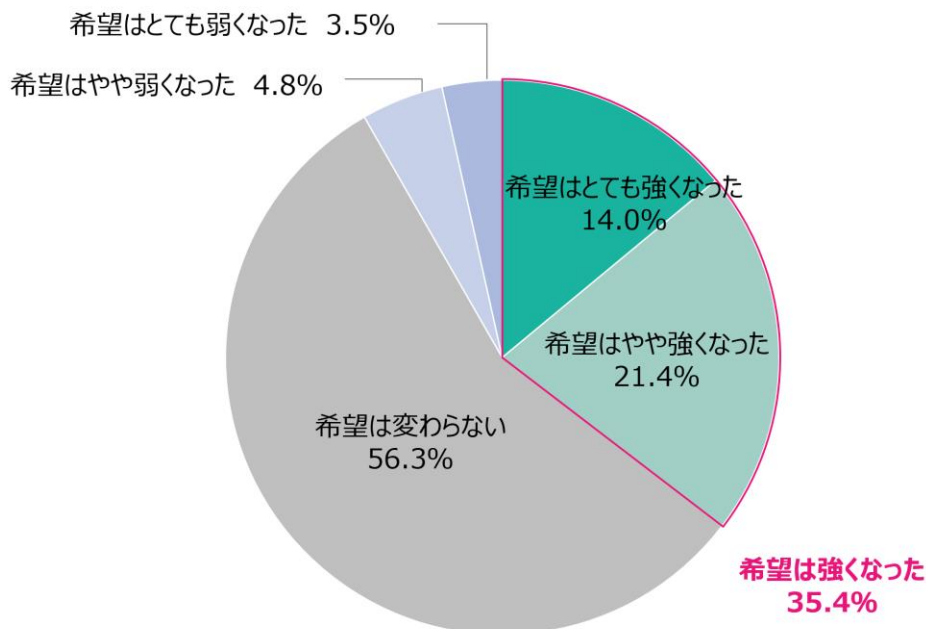
Q. 希望する雇用形態としてあてはまるものを、1～3位でそれぞれ選択してください。 n= 5,492 (学生を除く)



3. 希望する雇用形態が「正社員」と回答したアルバイト就業者のうち、3割以上が新型コロナウイルスの影響でその希望が強くなったと回答 理由の上位は“給与アップ”と“雇用の安定”

正社員で働くことへの希望の変化

Q.新型コロナウイルスの影響により、正規雇用（正社員として働くこと）への希望は変化しましたか。最もあてはまるものをひとつ選択してください。 n= 1,818（学生を除く、正社員1位希望者のみ）



正社員として“働きたい理由”と“働けていない理由”

Q.正社員として“働きたい理由”と“働けていない理由”として、あてはまるものをすべて選択してください。（複数回答） n= 1,818（学生を除く、正社員1位希望者のみ）

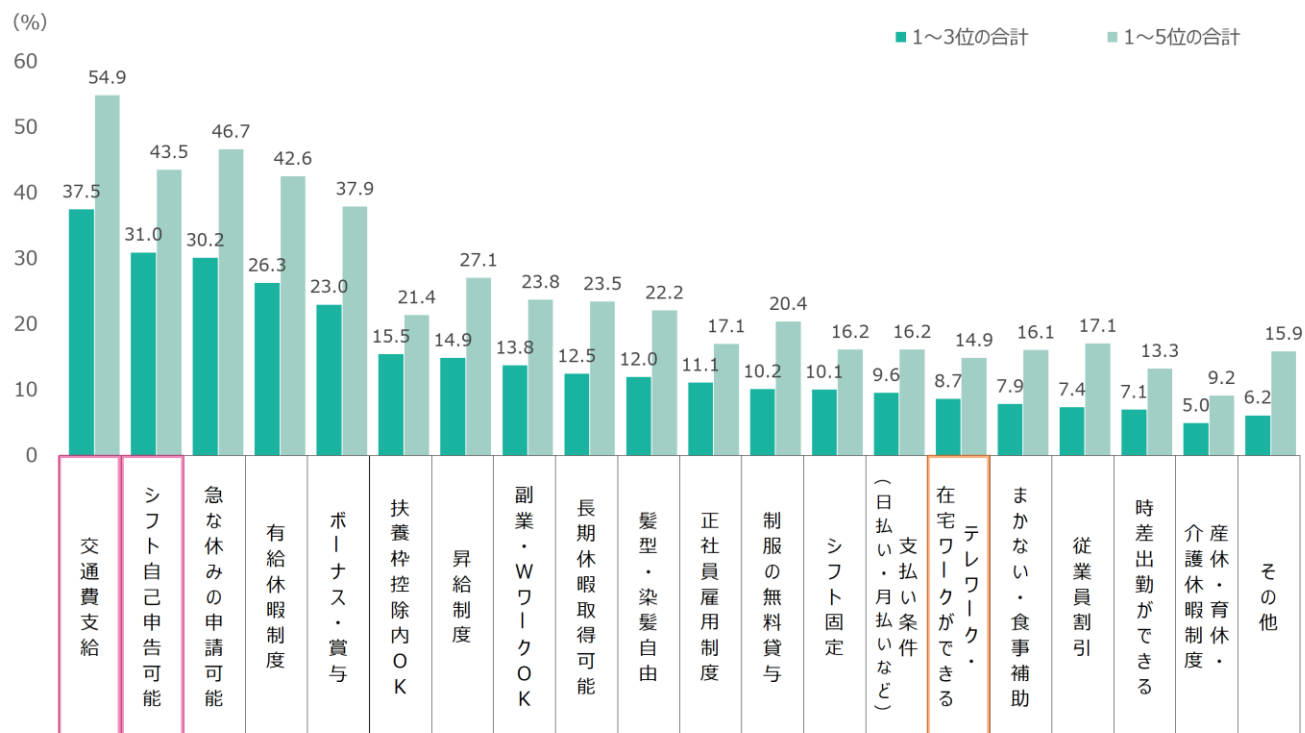
働きたい理由	(%)
給与をアップさせたいから	62.5
雇用が安定しているので将来が安心だから	55.4
福利厚生が充実したところで働きたいから	41.3
有期雇用は世間的に不利な地位にあるので、正社員の肩書が欲しいから	30.9
労働条件や職場環境を改善したいから	25.2
自分の意欲や能力を活かしたいから	16.7
キャリアを高めたいから	15.8
新しいスキルを得たいから	14.9
責任ある仕事をしたいから	13.5
専門的な資格や技能を活かしたいから	12.8
家事・育児・介護等の制約がなくなったから	5.7
その他	0.6

働けていない理由	(%)
再就職に自信がないから	27.3
正社員の仕事に、自分でもできる仕事があるか自信がないから	26.1
転職をするうえで学歴・職歴などに自信がないから	25.9
転職をするうえで年齢が壁になり、採用されなさそうだから	23.8
新しい職場になじめるか心配だから	22.8
自分が正社員になったときのイメージがわからず、不安だから	19.5
実際に転職活動をしたが、希望に合う仕事が見つからなかったから	19.0
転職活動をしたが、採用されなかったから	16.8
妊娠・育児・介護・病気などの理由で今すぐ正社員になることを望んでいるわけではないから	14.4
転職活動をする金銭的な余裕や時間的な余裕がないから	14.1
実際に転職活動をしたが、スキルなどの応募資格を満たせなかったから	11.9
働いている職場で正社員になろうとしたが断られたから	8.0
実際に応募をしたが、求人情報に記載してあった内容と差異があり辞退したから	6.7
その他	6.0

4. 待遇・制度・条件の希望1位「交通費支給」は54.9%、「テレワーク・在宅ワークができる」は14.9%

求職者が希望する待遇・制度・条件

Q.仕事探しをする際に、希望する「待遇・制度」を1～5位まで、優先順にそれぞれ選択してください。 n=7,047

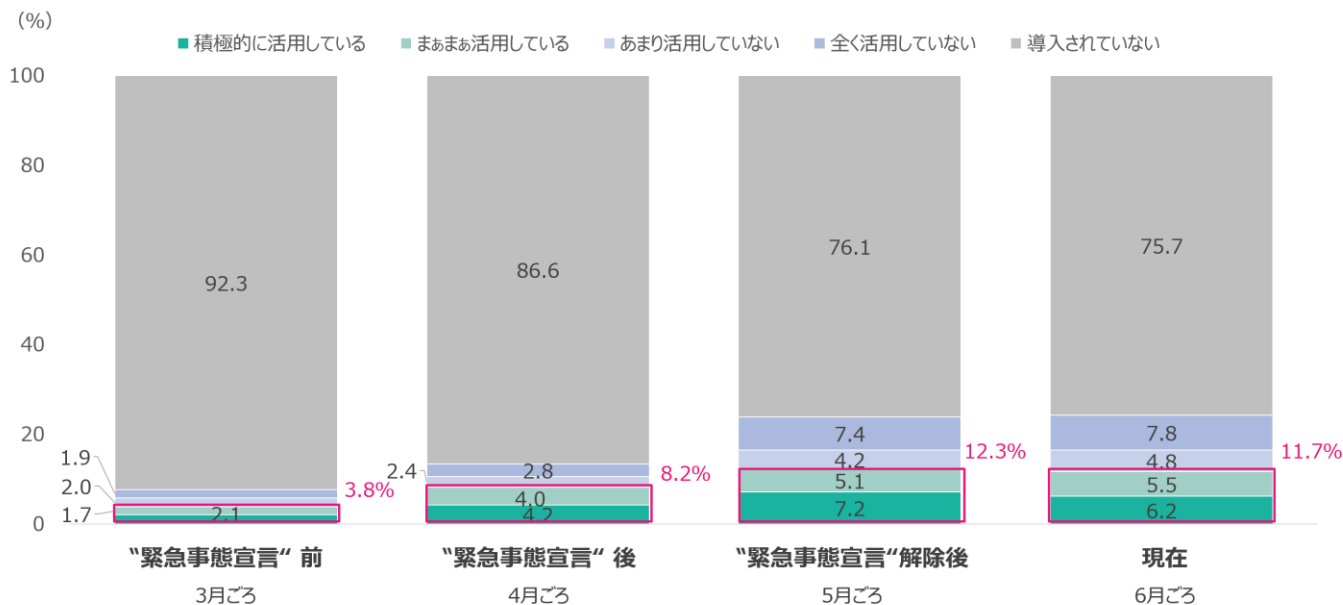


5. テレワーク・在宅ワークの活用は3.8%から11.7%に増加、Webクリエイター・編集、ITエンジニア、営業は20%以上

アルバイト就業先でのテレワーク・在宅ワークの導入・活用の変化

時期別

Q.あなたの就業している店舗・オフィスでのあなた自身のテレワーク・在宅ワークの導入・活用状況を現在と5月についてお伺いします。 n=28,701 (※3月、4月調査はグラフ内に記載)



- 調査手法：インターネット調査（楽天インサイトモニター利用）
- 調査実施時期：3月／2020年3月31日（火）～2020年5月6日（水）～2020年5月8日（金）
- 対象者条件：47都道府県内で派遣社員として就業している15～69歳の男女
- 有効回収数：3月／4,582サンプル、4月／3,222サンプル

※サンプル数について SC調査にて実査のため、他データとサンプル数が異なりますが、調査手法、実査対象、実査期間は同じです。

業種・職種別のテレワーク・在宅ワークの導入・活用実態と正社員との比較

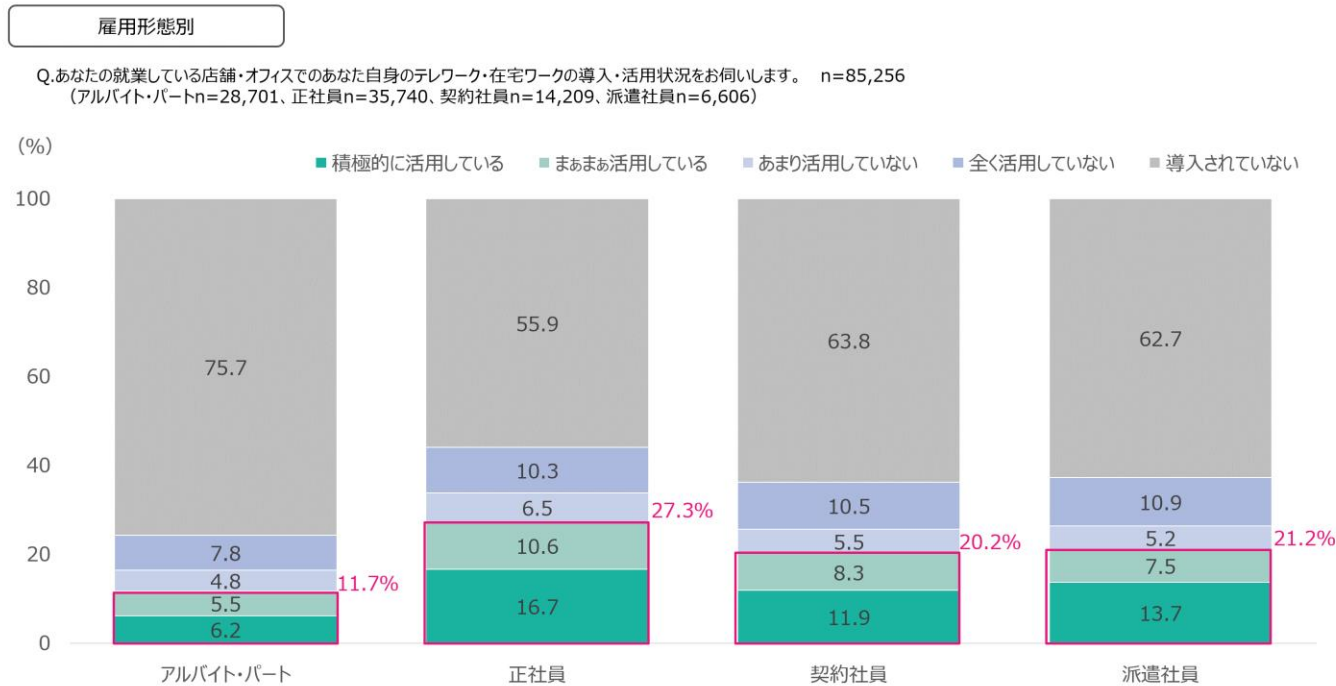
職種	アルバイト・パート	正社員	差異
Webクリエイター・編集	47.6	52.7	-5.1
ITエンジニア	37.2	52.3	-15.1
営業	25.0	40.2	-15.2
教育（塾講師・インストラクターなど）	24.6	24.6	0.0
オフィス（事務・企画）	17.8	34.7	-16.9
建築・土木技術職	13.8	24.0	-10.2
コールセンター	13.2	28.6	-15.4
その他	12.9	27.6	-14.7
イベント	12.8	47.5	-34.7
全体	11.7	27.3	-15.6
エステ・理美容	11.7	19.7	-8.0
接客・サービス（ホテル・アミューズメントなど）	10.2	24.1	-13.9
フード・飲食	10.1	21.2	-11.1
製造	9.8	18.2	-8.4
ナイトワーク（キャバクラ・ガールズバーなど）	9.3	35.8	-26.5
警備	8.1	23.5	-15.4
物流・配送・ドライバー	8.0	15.9	-7.9
軽作業	7.9	23.7	-15.8
医療・福祉	7.8	10.6	-2.8
販売	7.7	19.6	-11.9
清掃	6.9	14.7	-7.8
保育	6.7	15.8	-9.1
介護	5.8	15.3	-9.5

全体平均よりも
活用割合が高い

全体平均よりも
活用割合が低い

<ご参考>

雇用形態別のテレワーク・在宅ワークの導入・活用実態



その他、調査の詳細は下記 URL にて公開しています。

「アルバイト・パートの就業実態、就業希望調査」：

<https://www.baitoru.com/dipsouken/all/detail/id=422/> <https://www.baitoru.com/dipsouken/all/detail/id=423/>

■調査概要

調査設計・分析：ディップ総合研究所 ディップレポート編集室 川上由加里

調査名：ディップ総合研究所「アルバイト・パートの就業実態、就業希望調査」

調査手法：インターネット調査（GMOリサーチ利用）

調査期間：2020年7月2日（木）～2020年7月10日（金）

調査対象者：47都道府県内でアルバイト・パートまたは派遣社員※1として就業している15～69歳の男女

有効回収数：SC調査35,803サンプル／本調査11,129サンプル

アルバイト・パート（SC調査28,701サンプル／本調査7,047サンプル）、派遣社員（SC調査7,102サンプル／本調査4,082サンプル）

※1 本リリースでは、調査対象者のうち、アルバイト・パート（SC調査28,701サンプル／本調査7,047サンプル）の結果を使用

※当調査結果を引用・転載される際は、下記表記をお願いいたします。

出典：アルバイト・パートの就業実態、就業希望調査（<https://www.baitoru.com/dipsouken/all/detail/id=422>、<https://www.baitoru.com/dipsouken/all/detail/id=423>）

※インターネットメディアへご掲載いただく場合は、ディップ総合研究所TOPページ(<https://www.baitoru.com/dipsouken/>)または、アンケート調査結果ページ（<https://www.baitoru.com/dipsouken/all/detail/id=422>、<https://www.baitoru.com/dipsouken/all/detail/id=423>）のURLを記載ください。

ディップ総合研究所 概要

ディップ総合研究所は、アルバイト・パート・派遣社員・正社員など働く人すべての気持ちや本音・許容や理想を、調査を通して明らかにするため、2019年1月17日に開設しました。経営層から人事・採用担当者向けに、“採用活動やその後の育成・定着を成功に導く”実践的なコンテンツを提供することで、「採用された人材が活躍し、働く人と企業がともに輝ける社会」の実現を目指します。

ディップ総合研究所：<https://www.baitoru.com/dipsouken/>

当社概要

「私たちdip は夢とアイデアと情熱で社会を改善する存在となる」の企業理念のもと、“Labor force solution company”をビジョンに掲げ、『労働力の総合商社』として、人材サービス事業とAI・RPA 事業を提供しています。

社名：ディップ株式会社

代表：代表取締役社長 兼CEO 富田 英揮

本社：東京都港区六本木3-2-1 六本木グランドタワー31F

電話：03-5114-1177（代表）

設立：1997年3月

資本金：1,085百万円（2020年2月末現在）

従業員数：2,234名（2020年4月1日現在の正社員）※契約・アルバイト・派遣社員除く

事業内容：求人情報サイト「バイトル」「バイトルNEXT」「はたらこねっと」などの運営、看護師転職支援サービス、RPAサービス「コボット」の開発・提供、他

上場証券取引所：東京証券取引所（市場第一部）

売上高：売上高464億円（2020年2月期）

URL：<https://www.dip-net.co.jp/>

＜報道に関するお問い合わせはこちら＞

ディップ株式会社 川上由加里

TEL: 03-6628-4075／e-mail: dipsouken-info@dip-net.co.jp